

今日もはなまる



発行者：土田幸子

2023/10/14

第9号

今日も はなまる

このかわら版のタイトル、

“はなまる”は、「丸の最上級みたい」「太陽のマークにも似ている」ことから名付けました。



太陽のように、皆さんを暖かく見守るそんな存在の会でありたいと思っています。

(ちなみに、わが家の愛猫の名前もはなまるです)

このかわら版では、1年間の「親&子どものサポートを考える会」の状況をお知らせできれば・・・とっております。

昨年の全国版の集い

昨年、コロナ禍で開催した**第10回**の全国版子どもの集い・交流会は、午後のみのオンライン開催とし、『私もヤングケアラー？』～イメージされているヤングケアラーとの相違～をテーマに、ヤングケアラーに関して取材し発信されている毎日新聞の山田記者に、取材を通して見えてきた課題を話題提供いただく形で

進めさせていただきました。お話の後、小グループに分かれて意見交換・共有。相談や助けを求めることについて、どんな風に感じていたかや、どんな人がそばにいてくれたら良かったかなど、それぞれの感じてきた思いを語り合う機会になりました。共に暮らすご家族は、症状が落ち着くように・・・と願うものですが、神頼みの状況にもなり、宗教2世の課題も語られるなど、ご家族の苦労も垣間見えました。

今年は対面とオンラインのハイブリッド開催。プログラムも、講演を中心とした全体会（午前）と小グループでの語り合い（午後）に戻しました。どんな集いになるのか、楽しみです。

5月の学習会は・・・

精神障がいのある親とその子どもの支援に関する学習会をオンラインで開催しました。

今年は、「精神障がいを抱えながら子育てをされている親御さんへの支援」に焦点を当て、親御さんの育児を支援する専門家向けの研修動画『ゆら育プロ』について、大阪大学・蔭山先生からご紹介&子育てピアサポートグループゆらいくの皆さんからグループについてお話いただきました。この学習会は、親・子の支援を考えたい・・・という方なら誰でもOKというスタンスで行っているのですが、感想に、「支援者だけでなく、当事者・家族の方とも横並びの関係で、情報を共有したり意見を述べあったり、どの立場を一方向的に非難したり批判することなく、建設的なやり取りが展開できることに居心地の良さを感じた」との意見もあり、皆で同じテーマを考え合える雰囲気って大事だよな・・・と改めて感じました。来年のテーマは考え中。何か候補があれば、ご連絡ください。



COVID-19が5類に変わって支援者研修も対面になりました

親子が支援を求めやすい環境になるように…と親子の身近に存在する学校の先生や民生/児童委員さんらを対象に実施している『支援者研修』も、「基礎講座」・「実践講座」ともに対面式に戻しました。対面を待っていてくださる方が多かったのか、基礎講座には59名の方にご参加いただきました。

参加者の「実際にどんな風に関わると良いか知りたい」というニーズから、今年度は『想像力を働かせてみよう』をテーマに掲げ、精神症状が生活や子育てにどんな風に影響しているか、それを子どもがどんな風に感じているか、親子の生活がイメージできるように投げかけ、感想や疑問をいただき、掘り下げる形で実施しました。参加者からは、「想像力を豊かに、“こうなんじゃないか”と選択肢をたくさん用意することが必要

だけれど、その選択肢が押しつけにならないように会話やコミュニケーションを重ねていきたいと思いました」との感想をいただきました。これからは、参加者のニーズを伺いながら、現場に即した内容を展開できるようにしていきたいと思います。



集い運営の難しさ

2011年9月～月1回ペースで始めた『三重子どもの集い・交流会』も13年目に突入、明日が266回目の開催になります。これまで「話したくても話せなかった。他の方の経験も聞いてみたい」との意見から、三重の集いはよくある“言いつ放し・聞きつ放し”のスタイルではなく、やり取りできる形で開催しています。あなたのお家はどうかだったの？と、経験を語り合う中

で、「私の家が一番大変だったかも…」と比較して捉え、メンバーの何気ない発言に傷ついたり、「そんな風に軽く言わないで欲しい」と感じることもあるようです。その日の状況によって雰囲気も異なり、安定した場作りも難しいのですが、できるだけ安全に自己表現・やり取りができるように、集いの場が安全・安心の場になるように…と心がけています。本日の集いも…ですが、ここが気になったなど、お気づきの点などありましたら、お伝えいただくとありがたいです。皆さまの声を聞かせていただきながら、安全な場作りを目指していきたいと思います。



あとかぎ

先日、他団体の方と上記のような「会の運営って難しいよね、〇〇な時どうしてる？」というやり取りをしていました。他団体さまともこうした情報交換を行いながら、より安定した運営を心がけたいと思います。